

**【総評】** 受験生の皆さんお疲れさまでした。今年の入試は、昨年の出題形式から大きな変化はなく、落ち着いて取り組めた受験生が多いのではないのでしょうか。教科によっては、こんなにスラスラ解けていいのか、と思った受験生もいたようですが、普段通りの実力を発揮できたのでしょうか。思うように得点がのびなかった人、意外と得点できた人、普段なら解ける問題をミスしてしまった人など、いろいろな人がいることと思いますが、まずは全力を尽くした皆さんに拍手を送りたいと思います。高校入試は、中学生の皆さんにとって人生の節目であることは間違いありませんが、最も重要なのは、今回の経験を今後どのように生かしていくかということです。高校入試に向けて精一杯頑張れた人は、今回の結果に関わらず、今後の人生の節目においてもしっかりと自信を持って進んでいけるでしょう。「自分はもう少し頑張れたのではないか」「もっと頑張れば良かった」と考えている人は、今後の大学入試などの機会には同じ失敗を繰り返さずに精一杯頑張って前に進んでください。その経験が皆さんを強くし、今後の人生の糧になるはずですよ。道コン事務局も皆さんの今後の頑張りを影ながら応援しております。また、保護者の方々は、受験したお子さん以上に「やっと終わったか…」という安堵のため息をついておられることと思います。本当にお疲れさまでした。

以下、今年の入試について簡単にコメントいたします。

**【難易度】** 5教科の合計としては、標準問題・裁量問題ともに昨年と比べて易しめの出題だったことは間違いではないでしょう。標準問題では、基本問題の出題が増えた理科・英語を中心に得点がのび、昨年に比べて5～10点程度易化したと思われます。裁量問題でも、数学・理科が大幅に易化し、15～20点程度上昇しそうです。特に、数学の裁量問題が、制度導入以降で最も易しかったため、その影響を大きく受けたと言えそうです。一定レベル以上の裁量問題採用校では、高得点でのシビアな選抜となる可能性が高そうです。

**【出題内容】** 出題形式は昨年から大きな変更はありませんでしたので、落ちついて対応できたことと思います。今年も、表やグラフなどの読み取りやデータの活用におかれた出題が多く、今後の新学習指導要領の実施、2020年以降の大学入試改革に向けて、このような傾向が加速していくと考えられます。

普段のテストや模試の得点と差がついた人もいると思いますが、入試の難易度が変われば得点率も変わり、ボーダー予想も変わります。また、倍率や欠席者、志願者のレベルなどによってもボーダーは変動します。そのような観点もふまえて、事務局の分析と予想をご覧いただき、参考にいただければ幸いです。

### 【国語】

- 難易度…標準問題は例年並みの難易度でした。裁量問題が例年と比べて易しく、昨年より平均点がやや上がりそうです。
- 構成…形式・配点とも近年の傾向通りで目立った変化はありませんでした。
- ㊦(標準問題)…全体に易しめの出題です。漢字、敬語、表現の問いは基本的なものが出題されました。
- ㊦(裁量㊦)…問一・問二は、近年、誤字訂正の他にもう一問、漢字語句問題が出題されていましたが、今年は問一で文法問題(主述の関係、呼応の副詞)が出題されました。問三は、昨年の形式が踏襲され、資料(グラフ)をもとに、条件にしたがって発表内容を書く問いでした。
- ㊦(裁量㊦)…読みやすい小説です。問二、問三の記述問題は、昨年の小説とは異なり、問いの誘導にしたがって、文中の表現をつなげていけば、ある程度答えられる問いのため、比較的取り組みやすかったと思われます。問四(書き抜き)は、当てはまる表現がなかなか見つからず、戸惑った人も多かったのではないのでしょうか。
- ㊦(裁量問題)…昨年と比べてやや易しい出題となりました。記述は15字程度二つと55字程度の二問で、記述量は昨年に比べて大幅に減りました(昨年は60字程度・80字程度)が、傍線部や段落の指示の無い記述問題(問四)は近年の裁量問題では見られなかったため、難しく感じた人もいたのではないのでしょうか。
- ㊦…古文(随筆)からの出題。文章量は昨年よりも減りましたが、文章の難度が上がり、全体に正答率が低くなると予想されます。

## 【数学】

- 難易度…裁量問題が例年に比べてかなり易しかったため、裁量問題の平均点はかなり上がり、40点以上になりそうです。一定レベル以上の生徒ではかなりの高得点が予想され、上位校での選抜はかなりシビアになりそうです。標準問題はほぼ昨年並みの難易度でした。
- 構成…裁量問題は例年大きく分けて3題という年が続いていましたが、今年は2題となりました。負担が軽減され、落ち着いて取り組めたことと思います。裁量問題に「資料の活用」が取り上げられたのは初めてです。方程式による解法が例年にくらべ多いことも特徴です。(③の問2, ④の問3, 裁量⑤の問2)
- ①(標準問題)…昨年にくらべてやや難しい。
- ②(裁量①)…問題文が短くシンプルな問題が並び、中・上位の生徒にとっては易しかったと思います。
- ③(裁量②)…「魔方陣」を素材として、式による説明と方程式からの出題。内容としては頻出のパターンですが、数学的な思考力が必要で、標準・裁量下位の生徒には厳しかったと思います。
- ④(裁量③)…例年通り。ここ数年、問3は方程式による解法のものが目立ちます。
- ⑤(裁量④)…問1は $\angle DAG = \angle BGA$ に気づけば易しいですが、遠回りした解答が多いのではないのでしょうか。
- ⑤(裁量問題)…問1は関数のグラフに相似と三平方の定理、問2は度数分布表と方程式の融合でした。シンプルで取り組み易く、過去に例のない高得点が予想されます。

## 【社会】

- 難易度…昨年よりやや難しめの出題でした。①は例年通り語句解答が多く基本的な内容が中心となっています。②は昨年より難しめ、③、④は例年通りとなりました。
- 構成…大問構成は昨年同様、小問集合1題、地理・歴史・公民の各分野から1題ずつの計4題、小問数は41問(昨年同様)でした。各分野の配点は、②歴史13点(8問)、③公民13点(6問)、④地理13点(6問)となりました。完全解答の出題は16問(昨年は14問)でした。
- ①…各分野からの小問集合で、地理・歴史・公民分野からほぼ均等に出题されました。内容は平易なものでした。歴史分野では年代並べかえの問題がなくなり、基本的な知識を問う問題が出题されました。
- ②…歴史分野からの出題でした。古代から現代まで幅広く出题されました。完全解答の問題は、苦手とした受験生が多かったと予想されます。特に問2(2)、問5の問題は、単純な知識だけでは解けず、都道府県や年代との関連まで覚えていたかどうかで明暗が分かれそうです。記述問題は比較的平易なものでした。
- ③…公民分野からの出題でした。問1の衆議院の解散は基本的な内容でしたが、内容を的確に書けたかどうかで、点数に差が出そうです。毎年出題されている北方領土に関する出題や、領海・経済水域の範囲を問う出題など、例年通り標準的な出題だったと予想されます。
- ④…地理分野からの出題でした。昨年同様、A(世界地理)、B(日本地理)という構成でした。グラフと表の読み取り問題が多く、判断に迷う受験生も多かったのではないのでしょうか。A問2、B問1は、国や都道府県の特徴をしっかりと学習しておくことが大切でした。B問3の記述問題は、基本的な内容でしたが、グラフと関連付け、しっかりと説明できたかどうか为正答のポイントとなりそうです。

### 【理科】

- 難易度…難問がいくつか出題されましたが、標準的な難易度の問題が増え、完全解答が減りましたので、平均点は昨年(22.3点)より高くなり、30点近辺になると思われます。
- 構成…前年から大きな変更はなく、全体の小問数は39問で、配点も例年通り、①が18点、②～⑤が10点、または11点でした。今年は作図の出題がありませんでした。
- ①…昨年と同じ問題数でした。どれも基本的な内容の出題ですので、取りこぼすことなく確実に得点したいところです。
- ②…生物分野(植物)…よく見られる光合成に関する出題でしたが、実験や問題文の設定が複雑でしたので難しく感じられたかもしれません。
- ③…地学分野(地層)…問2から問4(1)までは標準的な内容でした。問4(2)は、図から多くの情報を読み取った上で、思考力が必要とされる難しい問題でした。
- ④…化学分野(化学変化)…素材は炭酸水素ナトリウムの分解でしたが、見慣れない問題が多く、とまどった人も多かったかもしれません。問3(2)は、加熱後の粉末から「1g」取って加熱することを見逃してしまうと正答にたどり着けませんでした。
- ⑤…物理分野(運動とエネルギー)…斜面を下る台車に関する出題でした。難問はなく、しっかりと準備をした受験生は得点をのばせたのではないのでしょうか。

### 【英語】

- 難易度…昨年と比較し、易しい出題でした。長文はいずれも身近な題材で、話題性のあるものもあり、読みやすかったのではないのでしょうか。それぞれの英文の文構造も把握しやすいものが多かったと思います。記述問題も、何を書けばよいか分かりやすく、比較的答えやすかったと思います。
- 構成…大問構成・配点とも、昨年来襲した形となりました。
- ①(聞き取りテスト)…出題形式・配点とも昨年同様で、全体の分量もほぼ同程度でした。紛らわしい選択肢もあまりなく、正答を選びやすかったと思います。
- ②(標準問題)…出題形式・配点とも昨年同様でした。ほとんどが中2までに学習した基礎的な内容で難問はなく、しっかり得点できた人が多かったのではないのでしょうか。
- ③(裁量②)…**A**は一昨年までの、空欄の語句選択、語句補充の形式が復活しました。易しく、オーソドックスな問いでした。**B**も例年通りの形式で、答えやすい出題でした。
- ④(裁量③)…出題形式・配点とも、概ね昨年同様となりました。会話文形式の長文読解問題で、題材は比較的よく出題されるごみについてでした。それぞれの英文も複雑な文構造がほとんどなく、読み取りやすかったと思われます。選択問題は選びやすく、記述問題は書くべき内容が明確なものでした。
- ④(裁量問題)…昨年同様**A**・**B**の二部構成でした。**A**は、東京オリンピックという話題性のある題材で、裁量問題にしてはそれぞれの文構造も易しく、内容が把握しやすかったと思います。出題形式・配点はほぼ例年通りでした。設問もストレートで、記述問題は書くべき内容が特定しやすく、問われる文法も比較的易しいものでした。**B**は例年同様、24語以上の自由英作文でした。近年よく出題されている、いくつかの選択肢から1つを選んで書く形式でした。内容は、「将来住みたい場所とその理由」という、意外とあまり書いたことのない出題だったかもしれません。